

平成29年度助成決定申請一覧表

※主に採択時点での情報を掲載しております。

A. 博物館学芸員等の内外研修に対する助成

応募:6件 決定:6件

(敬称略)

番号	氏名	所属機関	研修テーマ	研修施設名
				研修期間
1	齊藤 大朋	新ひだか町博物館 【北海道】	『宮内省新冠御料牧場関係資料を教材化するための試行的研究(2)』 宮内省新冠御料牧場関係資料の教材化を図る調査研究に方向性を与えるため、牧場の本質がひと目でわかる地図資料のGISデータ化と映像資料の加工・編集を行い、それらの教材化について可能性を探る。	宮内省書陵部図書課 宮内公文書館・ 日光市立日光図書館 5/1～2/28
2	高橋 拓	飯豊町教育委員会 社会教育課 生涯学習振興室 【山形県】	『米沢藩領を中心とした17世紀における東北窯業技術の伝播ルートの研究(3)』 椿焼裏山窯跡を中心とした東北の近世窯跡資料と、関西系陶磁器の近世窯跡資料との比較検討を行い、近世における東北への窯業技術の伝播についてそのルートを明らかにし、東北全体の窯業史研究に役する。	立命館大学、 滋賀県甲賀市教育委員会他 1/26～2/3
3	小谷野 有加	新江ノ島水族館 【神奈川県】	『水族館と研究機関の連携および研究成果の効果的な展示方法と教育普及活動について』 研究成果を効果的に展示し、教育普及に熱心に取り組んでいる水族館と併設の研究所を視察し、担当者へのヒアリングを通して、水族館における研究の意義、研究所との連携、展示方法と教育普及に関して調査を行う。	モンレー湾水族館、 バンクーバー水族館 10/29～11/7
4	野村 篤志	独立行政法人 国立科学博物館 【東京都】	『外部資金の効果的な活用による自然史科学系博物館の経営について』 運営費交付金の削減が続く当館のみならず、経営資源貧窮が目立つ日本の博物館経営に資するべく、寄付文化や制度の充実した米国において、聞き取り及び関係資料の収集を行い、新たな外部資金獲得アプローチ開発の一助とする。	リバティ・サイエンスセンター(米国) 10/9～18
5	丸山 貴代	公益財団法人 豊橋みどりの協会 【愛知県】	『インドネシアの代表的な植物園と植物の利用方法を学ぶ』 ボゴール植物園を始めとした、植物園やガーデンを視察し、日本の植物園でも活用でき得る栽培技術を学ぶ。また、桜という日本で一般的に栽培される植物から、気候・風土による栽培方法の違いを学び、活用を目指す。	ボゴール植物園他 11/12～17
6	中野 善廣	公益財団法人 牧野記念財団 高知県立 牧野植物園 【高知県】	『インドネシア視察(ボゴール植物園、チボダス植物園等)』 アジア有数の植物園の歴史や学術的管理方法、憩いの場としての造園・園地管理を学び、自らの知識や技術を高め、それらを還元することで、牧野植物園ひいては日本の植物園の発展に貢献したい。	ボゴール植物園他 11/12～17

B. 博物館に関する国際交流に対する助成

応募:3件 決定:3件

(敬称略)

番号	博物館名	事業名等	実施場所
			実施時期
1	名古屋大学 博物館 【愛知県】	『微化石の保存・登録に関する、 モンゴル国との国際協力とIDDBの 共同開発』 モンゴル科学技術大学博物館(MUST 博)へ、名古屋大学博物館の微化石保 管・登録ノウハウを移転する。その上で、 日本とモンゴルとで資料を共有できる、 双方向性のシステムを共同開発し、両大 学にて実際に運用する。	①MUST博物館(モンゴル) ②名古屋大学博物館
	館長 大路 樹生		①8月(20日間) ②10月(20日間)
2	全国科学博物館 協議会 【東京都】	『平成29年度全国科学博物館協議会 海外科学系博物館視察研修』 研修事業の一つとして毎年実施している もので、加盟館園から参加者を募り視察 団を組織し、海外の科学系博物館を視 察調査し意見交換することにより、加盟 館園の職員等の資質向上を図る。	欧州(ドイツ、オーストリア) の代表的な科学系博物館
	理事長 林 良博		1/15～25
3	公益財団法人 古代オリエント博物館 【東京都】	『館蔵資料「プセムテクのウシェブティ」 (AOM2585)に関わる資料調査、 及びその収蔵・展示について文化財 保護の観点からの情報交換の実施』 当館所蔵の19世紀末出土のファイアンス 製ウシェブティ(古代エジプトの葬祭小 像)に関する資料調査と、その収蔵と展 示についての情報交換を行い、それを もってして当館の展覧事業と教育普及事 業の向上を目指す。	(イギリス)リバプール世界 博物館、ウォリントン博物館 他
	館長 月本 昭男		11/17～29

C. 青少年の社会教育活動に対する助成

応募:37件 決定:25件

(敬称略)

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場 所
	代表者名		実施時期
1	岩手県ユネスコ協会連盟 【岩手県】	『平成29年度岩手県国際交流活動 研修会～第14回岩手県高校ユネスコ 研究大会～』 県内の高校生が、国際交流や国際協力を推進するユネスコ精神や多文化共生、貧困、福祉、平和、防災、難民などの今日的課題を学び、人々が共存し持続可能な社会を目指すためにできることを話し合い、その実現に向けた実践力を養う。参加型学習や他校生との協働体験により、新たな自分を発見する。	国立岩手山青少年 交流の家
	会長 三田地 宣子		1/19～20
2	第39回全国公民館研究集会・ 平成29年度東北地区社会 教育研究大会・ 第62回東北地区公民館大会 宮城大会実行委員会 【宮城県】	『第39回全国公民館研究集会・ 平成29年度東北地区社会教育研究大会・ 第62回東北地区公民館大会宮城大会』 全国各地から広く社会教育及び公民館関係者が 集い、日頃の社会教育活動や災害からの復興に 向けての活動情報や研究成果を学び合う。東日本 大震災後、地域が抱える問題は変化・多様化して いる。その解決に向けて、次代を担う子ども・若者を 核とした自助・共助・公助について考える大会である。	仙台国際センター
	実行委員長 菅原 敏元		10/30～31
4	秋田県立近代美術館 【秋田県】	『出前美術館 ～Artが学校にやってきた～』 来館が難しい地域に所蔵作品や県指定有形文化 財の「富嶽図」「芍薬花籠図」などの秋田蘭画のレ プリカを展示し、児童生徒が務める「子ども学芸員」 が地域住民に作品解説することで、作品理解を深 めるとともに、心の交流を図る。	仙北市立神代中学校
	館長 仲町 啓子		11/7～11
6	認定特定非営利活動法人 斗南どんどこ健康村 【青森県】	『子どもふるさと体験学習プロジェクト ～ふるさとや家族を思う心を醸成し、若い力を古 里に～』 ふるさとのために活躍する人材育成に寄与すること を目的に、子どもたちに故郷の歴史文化や自然体 験などを通して、故郷や家族がかけがえのないもの と思う豊かな社会性を身につけ、故郷のために力 を尽くす若い力を育成する。	斗南どんどこ健康村(む つ市)の下北郷土資料 館・南部裂織り館・ふるさ とまつり館他
	理事長 奈良 正義		4月～3月
7	特定非営利活動法人 盛岡YMCA 【岩手県】	『宮古を愛する子どもたちの育成事業』 サッカー、野外活動などのプログラムを通して、自 然に親しみ、体を動かす喜びを体験する。専門的 な訓練を積んだ大学生ボランティアとの交流を通し て、他者を思いやるころを育み、宮古の未来を担 う青少年を育成する。	①サッカースクール: 宮古小学校 ②野外活動クラブ: 陸中海岸青少年 自然の家他
	理事長 魚住 英昭		①4月～3月 ②5月～2月
8	公益財団法人 盛岡市文化振興事業団 キャラホール/都南公民館 【岩手県】	『キャラホール少年少女合唱教室・ 合唱団コンサート』 歌う楽しさを学ぶことで音楽に親しみ、仲間と力を 合わせて美し合唱を目指すことで、創造の喜びを 体験し、豊かな情操を養う。福祉施設等で訪問発 表を行い、合唱を通じて社会参加を図る。1年の成 果発表であるコンサートで他団体と共演し、友情を 深める。	都南文化会館 (キャラホール)
	理事長 三浦 宏		4月～2月

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場 所
	代表者名		実施時期
9	特定非営利活動法人 スペース・アンド・タイム・ クリエーション 【山形県】	コンクリートカヌー大会を通じた人材育成 『①第6回コンクリートカヌー東日本大会 ②第23回土木系学生によるコンクリートカヌー大会』 これから社会に巣立つ学生に、個の力では届かない ことでもチームワークを大切に、他を認め切磋 琢磨することで目標に近づくことが出来ることを実 体験してもらおう。勝つこと、負けることの中での感動 を大切に出来る人材育成を図る。	①グリバーさがえ (寒河江市) ②埼玉県戸田市 荒川調整池(彩湖)
	理事長 佐藤 政人		①8/5～6 ②8/26
11	グループ杜 【宮城県】	『留学生との交流パーティー』 国際間の相互理解を目的に、30年以上にわたり留 学生の受け入れを支援、生活面での援助をしてき た。年間300人以上の留学生との交流パーティーな どを通し、国際交流に努めている。	東北大学国際会館 三条第一会館
	代表 布川 洋子		4/8、10月
13	公益財団法人 札幌市芸術文化財団 【北海道】	『ジュニアジャズ国際交流事業』 スウェーデンでのワークショップ参加・演奏会出演 を通し、子供たちの豊かな感性や国際感覚を育 む。さらに日本とスウェーデンの国交樹立150周年 となる平成30年に向けて、両国間の草の根レベル の友好の進展に寄与する。	スウェーデン・ヘルネサ ンド市
	副理事長 橋本 道政		8/9～14
15	気仙沼テニス協会 【宮城県】	『ジュニアテニス教室』 震災後、学校の校庭や公園には仮設住宅が建ち、 子供たちは思い切り遊んだり運動したりすること ができない状態であったので、テニスを通じてスポ ーツすることの楽しさや素晴らしさを感じ、夢や目標 を持って生活してもらえようことを目的とする。	気仙沼市総合体育館
	会長 小山 克夫		4月～3月
16	宮古市子ども会 育成会連合会 【岩手県】	『岩手県沿岸ブロック子ども会代表者会議 「安全で住み良い街づくり研究集会」』 東日本大震災と台風10号で被災した沿岸地域の 小学生が集い、被災地の現状を視察し、自然災害 について学習し作文と標語にまとめる。また、学習 内容を参考に話し合い、地域住民の絆を深め、安 心・安全な地域づくりと子どもの健全育成に努め る。	岩手県立陸中海岸 青少年の家
	会長 刈屋 裕之		11/21～22
17	みやぎくりはらこども ねっとわーく 【宮城県】	『子ども達の居場所づくり事業 「くりはら遊びランド」』 平成20年・23年の2度の大きな震災で大きな被害を 受けたので、子供達の遊べる児童館もないのが現 状である。子供達が放課後自由に公民館に集い、 第三者の大人が関わる子供達の心を含む居場所 づくり事業を行う。	栗原市 志波姫公民館
	理事長 長柴 幸江		10月～12月 (月20日)
19	一般社団法人 「福岡おやじたい」 【福岡県】	『笑顔と絆のスクラムPart4 ～共に生きる社会の実現へ～』 自らでは活動できない青少年の障がい者を子に持 つ父親たちが、代理者として障がい者を広く一般 の人々に知ってもらうためのイベントを開催する。参 加の一般の青少年に、社会教育活動の一環とし て、温かな共生社会への理解と実現に寄与する。	福岡市東市民センター (なみきホール)
	代表理事 吉田 正弘		1/6

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場所
	代表者名		実施時期
20	気仙沼市大島中学校 野球部離島甲子園 実行委員会 【宮城県】	『国土交通大臣杯第10回全国離島 交流中学生野球大会参加活動』 全国の離島中学生が交流し、郷土愛を育み、夢や 希望を持ちながらこの大会に参加することで、心の 成長を促したい。さらに東日本大震災の被災地を 代表して、風化しつつある現状を、子供目線とし て、大会を通じて都度発信させたい。	沖縄県石垣市
	会長 菊田 健		8/21～25
21	ゴンターズ高原 スポーツ少年団 【京都府】	『双葉郡のコミュニティー復興事業』 東日本大震災、原発災害により避難している被災 者への支援を行う。復興を目指し色々な取り組みを しており、その事によって次世代を担う健全なから だと心を持った青少年の育成に繋げる。事業は子 供たちが主体で活動する。	京丹波町、いわき市
	代表 奥田 健次		7月～8月、1月
23	認定・埼玉県指定 NPO法人 メイあさかセンター 【埼玉県】	『絵を通じての友好 日馬児童絵画展覧会・セミナー& ワークショップ' 17in SABAH』 日本とマレーシアの学校教育と連携、誰にも参加 のチャンスがある国際教育・情操教育・グローバル 教育支援活動で、手段は絵画作品である。作品交 換教室、公開展、人物交流、教師対象セミナー ワークショップでカリキュラムを共有する。	マレーシア・サバ州 コタキナバル 州立図書館局
	代表理事 尾池 富美子		8/6～20
24	一般社団法人 茨木青年会議所 【大阪府】	『ネパール国際交流・研修事業 「着物プロジェクト」』 着物というツールをきっかけに、青少年が日本の伝 統文化を学ぶ機会を得る。日本の着物文化を伝え ると共に、相互の文化交流や多文化への理解を深 めることにより、世界の中の日本の在り方を考え、日 本人の役割を感じることを目的とする。	ネパール・ キルティプール市、 茨木市他
	理事長 井上 有紀		4月～8月
26	特定非営利活動法人 空・山・川・海・大地を 愛する会 【青森県】	『童謡・唱歌継承プロジェクト ーふるさとを英語で歌おう!!』 童謡・唱歌の歌詞には「日本」が歌われており、英 訳した童謡・唱歌に触れることで、子供たちは外国 との気候・風土の違いや感受性の相違に気づかさ れるはずである。そして、外国に対する興味をかき 立て、飛躍する心を養ってくれると考えている。	青森市・七戸町の 小中学校4校
	理事長 金子 春雄		10月～12月
27	国立大学法人 山形大学学術研究院 大学院理工学研究科 【山形県】	『モバイルキッズ・ケミラボ2017』 理科教育の振興と豊かな人格形成および人材育 成を図るため、山形大学大学院理工学研究科教職 員の有志と米沢市教育委員会の連携のもと、小中 学生を対象とした理科実験教室や各種イベントで の出前実験教室を開催する。	米沢市理科研修センター
	准教授 木島 龍朗		5月～12月
28	特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン 【宮城県】	『見上げてごらん♪夜空の星を♪星空観察会』 登米市一帯は、天の川が肉眼でも良く見える貴重 な星空が残っている地域である。その自然の豊か さを伝えることで、家族での気づきや意識の高まり、 維持改善の行動に繋がることが青少年の健全育成 に必要と考え、企画・実施している。	登米市中田生涯学習セ ンター
	理事長 小野寺 敏		7/1、9/23、 11/25、2/3

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場 所
	代表者名		実施時期
30	芝浦工業大学 地域連携・ 生涯学習センター 【東京都】	『 少年少女ロボットセミナーin仙台 2017 』 大学生の支援のもと、小中学生にロボットづくりを通してモノづくりの楽しさを実感させる。この体験を通して、子供たちが先々科学分野へ進むきっかけをつくることで、我が国の科学技術を担う人材育成に寄与する。	東北福祉大学 仙台駅東ロキヤンパス
	センター長 小野 直樹		7/1～2
33	国立大学法人 宮崎大学教育学部附属 教育協働開発センター 【宮崎県】	『 宮崎大学教育学部の知財を活用した 地域連携アート事業 (アートであそぶ、アートとであう、 アートにまなぶ)』 宮崎大学と地域の文化施設や自治体が連携し、次代を担う人材の育成に地域社会全体で取り組んでいく。青少年を取り巻く社会情勢の多様な変化に対し、芸術や表現活動を活用することで、従来とは異なる視点から社会的課題にアプローチする。	アート・イン・レジデンス作品制作「TANOお化け屋敷」:宮崎市田野公民館
	センター長 新地 辰朗		7/8～16(4日間)
34	一般社団法人 北海道ブックシェアリング 【北海道】	『 北海道内の書店がないまちでの 1日書店員体験事業 』 北海道内の書店も図書館もない地域で、1日書店員体験を実施する。活動を通して、本の楽しさを見つけながら発信する力、働くことの責任感や職業観を育む。地域内外の人との交流を通し、自分が住む地域についての理解を深める。	北海道内にある書店も 図書館もない自治体
	代表理事 荒井 宏明		5月～10月(計3回)
35	江差追分会 【北海道】	『 ジュニア江差追分セミナー 』 全国に広がった江差追分を後世に正しく伝承する後継者を育成するため、本場の師匠達から本場の風土の中で、唄の本質と基本を学ぶ事業。共同生活をしながら、町内の史跡巡りや実際に船の上でも唄う体験を通じて、青少年の健全育成にも寄与する。	江差追分会館他
	会長 照井 誉之介		7/28～31
36	陸前高田応援隊 【栃木県】	『 復興への想いを込めて人形劇と歌と小縁日で 被災地に笑顔届けよう! 』 地域の有志の子供目線で子供を主体とした同世代での交流を通して、同じ時間を生きる仲間として復興のプロセスを実感し、今の自分達にできることを自ら考え実体験として経験し、それを地域に広め、未来の子供達に繋がる活動としたい。	陽だまり保育園・ 陸前高田市
	代表 直井 正幸		7/24～8/1、8/24

D. 文化及び芸術等の振興に対する助成

応募:40件 決定:25件

(敬称略)

分類 番号	団体名	事業名等	場 所
			実施時期
2	公益社団法人 東北障がい者 芸術支援機構 【宮城県】	『第3回Art to You! 東北障がい者芸術公募展』 東北地域で障がいのある人の芸術創作活動を支援することにより、彼らの作品を掘り起こし、見つけ出し、活躍のフィールドを広げ、公募展というステージを毎年創りながら、生きがいづくりの活性化に努め、福祉の増進に寄与する。	せんだいメディアテーク
	代表理事 須佐 尚康		7/6~9
4	N-ovalビル 音楽サロン 【宮城県】	『N-ovalビル音楽サロン monthly concert-Monday afternoon-』 クラシック音楽の啓蒙、情操教育活動をとおり、楽しい音楽の世界の素晴らしさと心のゆとりを感じてもらうため、毎月N-ovalビルでオペラ・ピアノ等演奏会を、楽都仙台の一助となるよう開催する。	N-ovalビル一階 オープンスペース
	代表 野口正一		毎月1~2回
5	一般社団法人 仙台オペラ協会 【宮城県】	『2017仙台オペラ協会第42回公演 「フィガロの結婚」』 モーツァルト作品の中でも特に有名で人気の高いオペラ。キャストやスタッフにできるだけ多く地元の若い力を起用し、楽しく魅力的なこの作品を上演することにより、オペラの普及と地域の音楽文化の振興に寄与する。	東京エレクトロン ホール宮城
	会長 藤崎 三郎助		9/2~3
6	みやぎ民話の会 【宮城県】	『福島県相馬郡飯舘村の民話と生活誌の記録 及び「語りの交流会」の実施』 伝承する語り手の高齢化によって失われつつある民話を次世代へ伝承するために、母親から受け継いだ民話を伝承する語り手菅野テツ子さんの語りを記録する。そして、新しく語りを目指す人たちと、今後の「語り」のあり方をさぐるための集いを行う。	①聞き取り調査: 福島県松川市 ②語りの交流会
	代表 山田 裕子		①4月~3月 ②10月
7	特定非営利活動法人 日本ハンドベル連盟 【東京都】	『日本ハンドベル連盟創立40周年記念 アジアフェスティバル』 連盟創立40周年を記念し、ハンドベルとハンドベル音楽に関する正しい知識の共有とさらなる普及を図り、ハンドベルを通じたアジアやその他の国との国際交流を目的とする。	仙台国際センター
	理事長代行 下田 和男		8/18~20
13	仙台宗教音楽合唱団 【宮城県】	『仙台宗教音楽合唱団 創団50周年記念 第37回演奏会』 創団より半世紀となる本年、バッハ作曲「マニフィカト」「カンタータ」、シュッツ作曲「音楽による葬送」を、これまでの感謝及び大震災を経験した我々の祈りを込めて演奏し、地域の音楽文化の振興に寄与する。	東北大学百周年記念会 館川内萩ホール
	委員長 北岡 倫典		7/30
14	公益社団法人 宮城県芸術協会 【宮城県】	『第54回宮城県芸術祭』 宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会、宮城県文化振興財団、河北新報社と宮城県芸術協会の七団体共催で、宮城県の芸術文化の振興発展に寄与することを目的とする。	せんだいメディアテーク他
	理事長 大場 尚文		9月~3月

分類 番号	団体名	事業名等	場 所
			実施時期
15	国立大学法人 東北大学 附属図書館 【宮城県】	『平成29年度東北大学附属図書館企画展 夏目漱石生誕150周年記念展示 「夏目漱石-その魅力と周辺の人々-」 夏目漱石の手書き資料や旧蔵書からなる漱石文庫を所蔵し、生誕150周年となる本年は仙台文学館との共催で、漱石文庫の他、漱石ゆかりの文人達とその個人文庫や資料を、一般市民に向けて紹介する展示会を行う。	せんだいメディアテーク
	館長 植木 俊哉		11/3～14
16	東北歴史博物館 【宮城県】	『山形県西置賜郡小国町小玉川熊祭りの実施、公開』 山形県西置賜郡小国町小玉川で伝承されてきた熊祭りを、宮城県で実施する。熊を山の神からの授かり物と捉えてきた猟師の世界観を紹介し、人と動物との多様なかかわりを再発見する機会を提供する。	東北歴史博物館
	館長 鷹野 光行		10/9
17	特定非営利活動法人 響愛学園マーシー サービス可児 【愛知県】	『マーシーサービス可児2017 5周年コンサート&アート作品展 マーシーカーニバル』 障がいを持った児童が生きる喜びや幸福感を、多くの人と共有でき、障がいを個性と捉え、芸術を通じて相互理解の向上に繋げ、交流の場として広く文化の向上にも繋がる。地域の人々にたくさんの思いを伝えることを目指す。	可児市文化創造センターala
	理事長 児島 真里子		①コンサート: 6/24 ②アート作品展: 6/22～24
18	株式会社 寛松能 【宮城県】	『第8回 能への誘い』 平成22年より開催している催し。演目の合間に解説を交え、初心者でも能楽を気軽に楽しめることを目的としている。また、仙台市内の小中学生を招待し、本物の伝統文化を体感する機会を提供している。さらに、外国人留学生も招待数拡大を考えている。	仙台市民会館
	代表 佐藤 寛泰		11/7
20	さが昔話の会 【佐賀県】	『佐賀の民話デジタル事業』 現代において、伝承されてきた口承文芸が絶滅危機と感じる。民話をデータベース化することで、後世へ新スタイルの伝承を確立でき、教育者・若い保護者層・子供たち等、全ての人を対象に公開し、寄与することを目的とする。	4月～3月
	会長 宮地 武志		
21	ヘンデル「メサイア」 帯広演奏会 実行委員会 【北海道】	『ヘンデル「メサイア」帯広演奏会』 小中高の音楽教育が吹奏楽に偏る現在の状況を、合唱音楽に目を向けさせたいと、合唱音楽の傑作ヘンデルの「メサイア」を、古楽器の伴奏で演奏会を開催し、合唱を志す人達の範になるとともに、地域音楽文化に寄与する。	帯広市民文化ホール
	実行委員長 竈 英夫		10/22
23	公益財団法人 現代人形劇センター 【神奈川県】	『デフ・パペットシアター・ひとみ 第14回全国公演作品「河の童」 製作、公演事業』 舞台芸術は常に社会の動きの中で創造したいと考え、今回は様々な違いの中で生きている現在の共生をテーマにした人形劇を製作する。聾者と聴者が協働して活動する当劇団の作品は、音声言語に頼らない表現で、聾者を含め多くの人々に見てほしい。	川崎ソリッドスクエアホール(予定)
	理事長 塚田 千恵美		(稽古)4月～2月 (公演)2/22～25

分類 番号	団体名	事業名等	場 所
			実施時期
24	東北大学学術資源 研究公開センター 植物園 【宮城県】	『平成29年度東北大学植物園市民公開講座 —Schola Botanica 2017—』 学内外の研究者を招き、一般向けの植物学および その関連分野に関する講座を開講し、植物学の普 及および地域の社会教育事業の一翼を担う。自然 史講座「水辺に住む植物たち」を全6回、植物画講 座2回を企画。	植物園講義室
	園長 牧 雅之		5月～11月 8回
25	認定NPO法人 山形国際ドキュメンタ リー映画祭 【山形県】	『山形国際ドキュメンタリー映画祭2017・ 東日本大震災記録映画特集上映プログラム 「ともにあるCinema with Us 2017」』 東日本大震災記録映画の特集プログラムを実施 し、作品の上映及びシンポジウムを行う。震災復興 の実状、教訓の未来への継承のあり方について、 観客、識者の人々と共有し考えることを目的とす る。	山形美術館 (予定)
	理事長 大久保 義彦		10/5～12
26	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団 (宮城野区文化センター) 【宮城県】	『宮城野区文化センター 「室内楽セレクションMusic from PaToNa」』 全国的に珍しい地方都市における室内楽の本格的 な演奏会シリーズを開始した。仙台フィルのメン バーを中心としたアンサンブルでプログラムを組み ながら、常にレベルの高い内容で開催する。	宮城野区 文化センター
	理事長 山内 晃		4/27～2/20
29	熊本大学 日本史研究室 資料保全継承会議 【熊本県】	『熊本地震被災資料と大学学術標本を活用した 展示事業』 熊本地震で被災した資料を展示することで、文化 財に対する意識を高めることを目的とする。また、 世界遺産登録を目指す熊本県に所在する大学とし て、県民の日本キリスト教史への理解を深める事業 を行っていく。	天草市立天草キリシタン 館、西南学院大学博物館 他
	代表 安高 啓明		6月～3月
30	特定非営利活動法人 えべつ楽友協会 【北海道】	『えぼあホール20周年記念 えべつ楽友協会創立20周年記念 中丸三千繪 ソプラノリサイタル』 当協会20周年記念事業として世界レベルの質の高 い演奏が、地域の音楽文化向上に寄与するものと 思われる。平成27年に引き続き、東日本大震災で 札幌圏に避難している人々をコンサートへ招待す る。	江別市民文化ホール (えぼあホール)
	理事長 石川 治徳		3/10
32	小野田はたおり 保存会 【宮城県】	『デザインの世界(コスモス)「衣・次元シアター」』 加美町に伝わるはた織り文化を、日本の「衣」分野 に於ける伝統性、現代性双方の視点から考える試 みとして始めた公開パフォーマンス。例年、地元 の高校や町との連携で地域社会との関りを深めな がら、新たな里山文化の醸成と情報の発信を図る。	滝庭の関 駒庄 農家屋敷館 (加美町)
	会長 笠原 博司		10/1
33	奥玉振興協議会 【岩手県】	『とびがもり水車音楽祭2017』 山に降った雨は川となって陸を流れ、海に注ぎ、太 陽に温められて蒸発して雲となる。そしてまた雨と なって人の生活を潤す。水車はそのエネルギーを 借りて回る。音楽を奏でる水車をつくり、人間と自然 が共演する音楽祭を開催する。	一関市千厩町奥玉、 千厩維新館他
	会長 藤原 幸夫		5月～9月

分類 番号	団体名	事業名等	場 所
			実施時期
35	モザンビークのいのち をつなぐ会 【福岡県】	『第2回 アフリカ・マコンデ族の音楽と 文化交流ツアー』 優れた芸術文化を誇るアフリカ・マコンデ族の人気 アーティストを招聘し、東北・関東・中部・関西・九 州地方約40ヶ所にて音楽文化公演を実施し、日本 とアフリカ及びモザンビークの親善と相互理解を促 進する。	東北・東京・名古屋・大 阪・京都・福岡の大学他
	代表 榎本 恵		7月～12月
38	春江大好き プロジェクト 【福井県】	『子ども落語笑学校』 会話で成り立つ落語を学ぶことで、子供のコミュニ ケーション能力を高めることを目的とする。江戸落 語真打屋敷龍玉師匠から指導を受け、一人ひと つ喃を覚えて発表する。福祉施設等でボランティア 活動を行う。	ハートピア春江
	代表 木川 直美		9月～12月
39	モレーナフラメンコ スタジオ 【宮城県】	『モレーナフラメンコスタジオ20周年公演』 スタジオ開設20年の軌跡を披露する公演。これま で「旅」をテーマとしたが、震災後は復興に向かう気 持ちをテーマに込めている。今回は「挑戦」をテー マとしたフラメンコで、スペイン文化の振興及び復 興の一助とするものである。	電力ホール
	代表 今野 美里		12/16
40	朝野研究室 【東京都】	『南九州市国際彫刻 シンポジウム2018(公開彫刻制作)』 文化・芸術振興の発展途上な地域に対して、国際 的な芸術活動(彫刻の公開制作や講演、国際交流 ワークショップ、完成作品の設置)の展開により、芸 術文化へ対する関心を高め、国際的視野の広い 潤いのある生活環境空間の創造を目的とする。	鹿児島県南九州市
	東京学芸大学 教授 朝野 浩行		2/5～20